

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【公表番号】特表2009-505207(P2009-505207A)

【公表日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2008-525705(P2008-525705)

【国際特許分類】

G 06 F 3/033 (2006.01)

A 63 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/033 3 1 0 Y

A 63 F 13/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月10日(2009.8.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

周囲環境を提供する複数の装置と、ユーザのジェスチャを検出するジェスチャ検出手段と、前記ジェスチャ検出手段からの出力を受信し少なくとも1つの装置と通信する制御手段とを有する対話型娛樂システムであって、前記制御手段は、前記出力から前記周囲環境の位置を得て前記ジェスチャ検出手段の出力に応じてその判定した位置における1つ又は複数の装置の動作を変更するよう構成される、システム。

【請求項2】

請求項1に記載のシステムであって、前記ジェスチャ検出手段は、前記ユーザのジェスチャの方向成分を検出するよう構成される、システム。

【請求項3】

請求項2に記載のシステムであって、前記ユーザのジェスチャの前記方向成分は、前記複数の装置のうちのどの装置が動作を変更するかを決める、システム。

【請求項4】

請求項1, 2又は3に記載のシステムであって、前記ジェスチャ検出手段は、前記ユーザのジェスチャの動き成分を検出するよう構成される、システム。

【請求項5】

請求項4に記載のシステムであって、前記ユーザのジェスチャの前記動き成分は、前記装置の動作の変化の性質を決める、システム。

【請求項6】

請求項1ないし5のうちいずれか1つに記載のシステムであって、前記装置は、規定位置においてイベントを演出するよう構成され、前記制御手段は、前記規定位置が前記ジェスチャ検出手段の出力から得られる位置に合致しているかどうかを確認するよう構成される、システム。

【請求項7】

請求項1ないし6のうちいずれか1つに記載のシステムであって、前記ジェスチャ検出手段は、1つ又は複数のウェラブル検出構成部を有する、システム。

【請求項8】

周囲環境を提供するよう複数の装置を動作させること、ユーザのジェスチャを検出すること、前記周囲環境における位置を判定すること、及び当該検出されたジェスチャに応じて当該判定位置における1つ又は複数の装置の動作を変更することを有する、対話型娛樂システムを動作させる方法。

【請求項9】

請求項8に記載の方法であって、前記ユーザのジェスチャの検出は、前記ユーザのジェスチャの方向成分を検出することを有する、方法。

【請求項10】

請求項9に記載の方法であって、前記ユーザのジェスチャの前記方向成分は、前記複数の装置のうちのどの装置が動作を変更するかを決める、方法。

【請求項11】

請求項8, 9又は10に記載の方法であって、前記ユーザのジェスチャの検出は、前記ユーザのジェスチャの動き成分を検出することを有する、方法。

【請求項12】

請求項11に記載の方法であって、前記ユーザのジェスチャの前記動き成分は、前記装置の動作の変化の性質を決める、方法。

【請求項13】

請求項8ないし12のうちいずれか1つに記載の方法であって、規定位置においてイベントを演出すること、及び前記規定位置が当該判定された位置と合致するかどうかを確認することをさらに有する方法。

【請求項14】

請求項8ないし13のうちいずれか1つに記載の方法であって、前記ユーザのジェスチャの検出は、1つ又は複数のウェラブル検出構成部から読み取り値を得ることを有する、方法。